

樽商大など最高評価

文科省 多様性高く 交付金増

文部科学省は6日、国立大への2021年度運営費交付金の一部を傾斜配分する比率を公表した。女性教

員や障害のある学生の比率で評価する「ダイバーシティ環境醸成」の指標では、全国86大学のうち34校が増

額評価を受けた。

文科省によると、常勤職員に占める女性や外国人の割合が高かったり、障害のある学生らが多かったりするほど多様性があると認定。この指標で評価した傾斜配分では、樽商大、北見工大、筑波技術大、一橋大、

豊橋技術科学大、滋賀大、長崎大の7校が最高の120%とされ、各校の基準額から2割増になった。

他に27校が105～115%の増額評価。一方、最低評価の80%とされたのは10校だった。